

2019 年度アスベスト大気濃度調査結果について



環境省では、アスベスト(石綿)による大気汚染の状況を把握するために 2005 年度より毎年度大気中のアスベスト濃度を調査しており、このたび、2019 年度の調査結果を取りまとめました。

測定地点ではアスベスト以外の繊維を含む総繊維数濃度についても特に高い濃度は見受けられなかったとしています。一方、旧石綿製品製造事業場及び一部の解体現場等においてアスベスト繊維数濃度について高い濃度が見られたため、関係省庁、自治体、事業者への指導を行うとともに、2020 年度も継続して調査を行うこととしています。

概要は以下の通りです。

1)調査地点:全国 39 地点(解体等工事現場や旧石綿製品製造事業場等を対象)

2)測定方法:「アスベストモニタリングマニュアル(第 4.1 版)」(環境省水・大気環境局大気環境課)

3)調査結果

○地域分類別(39 地点)における調査結果

- ・ 発生源周辺地域(調査実施 19 地点)…総繊維数濃度の幾何平均値:0.088~0.41 本/L
総繊維数濃度が 1 本/L を超えた地点:7 地点
(旧石綿製品製造事業場等、廃棄物処分場等、解体現場の各 1 地点においては石綿確認)
- ・ バックグラウンド地域(調査実施 20 地点)…総繊維数濃度の幾何平均値:0.075~0.13 本/L
総繊維数濃度が 1 本/L を超えた地点:無し

○継続調査地域(32 地点)における調査結果

総繊維数濃度の幾何平均値:0.075~0.34 本/L

当社は、石綿分析に係るクロスチェック事業(日本作業環境測定協会)で空気においてAランクの評価を取得しております。お困り事・ご相談事等ありましたら、お気軽にお問い合わせください。

資料 [2020 年 10 月 9 日付 環境省報道発表資料](#)

研究開発箇所 鈴木敏純

基準の遵守、測定頻度は管理できていますか？

工場や家庭からの排水には法律による規制があります。放流先や排水量、取り扱っている物質によっても様々です。

これらについて、適切に当社がサポート致します。

詳しくは下記URL、右記QRコードからご覧いただけます。

http://www.knights.jp/ana/water/drain_index.html

